

令和5年度研究発表会の開催と論文募集のお知らせ

令和5年度の研究発表会を下記の要領で開催いたしますので、論文発表をご希望の方はご応募ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。発表申し込みは学会ウェブサイト上の「[Google フォーム](#)」より行っていただきます。また、参加申し込みは、事前申し込み・事前支払いを実施します。詳しくは学会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。

期 日：令和5年10月5日（木）、6日（金）研究発表会、7日（土）見学会

会 場：あきた芸術劇場ミルハス（〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町2-52）およびオンラインのハイブリッド開催を予定（Zoomを使用予定）

応募締め切り：**令和5年5月23日（火）（延長しました）**

申し込み方法：・原則として[学会ウェブサイト研究発表会のページ「論文発表の申込」のGoogle フォーム](#)からお込みください。

・申し込み方法の詳細は、Google フォーム上に掲載しますので記入方法や注意事項をよく読んで申し込みを行って下さい。

・**論文発表は1人1編とし、講演者は学会員であること**とします。なお、**申し込み時に非会員の場合は研究発表会までに会員登録手続きを済ませてください。**

特別セッション令和5年度の研究発表会では、以下の4件の特別セッションを設定いたします。

特別セッション1「応用地質学から見た関東大震災100年と地域の地震災害」（口頭発表のみ）

提案者：災害地質研究部会 稲垣秀輝（株式会社環境地質）、千田敬二（株式会社八州）

招待講演：準備中

趣 旨：2023年9月1日が関東大震災100年になる。また、1983年日本海中部地震（秋田県沖）から40年となる。この機に応用地質学から見た関東大震災を中心に地域の地震災害を見直して、来るべき大災害に備える。

首都圏で懸念される関東大震災の再来について、その社会的影響は大きなものである。研究発表会の行われる時期は2023年10月5-6日であり、2023年9月1日はほぼ大正関東大震災100年になる。災害地質研究部会では、関東大震災の過去の記録について自然災害伝承碑などを含めて広く研究を始めている。この機にこれらの成果や過去の地震災害を応用地質学的な観点からまとめた結果を持ち寄り、互いに討論し、来るべき関東大震災を中心に地震災害に備えるものである。

特別セッション2「アジア地域の自然災害と社会システムにおける応用地質の関わり」（口頭発表のみ）

提案者：長谷川信介（応用地質株式会社）、野々村敦子（香川大学）、菊地輝行（公立諏訪東京理科大学）

招待講演：海外の研究者の講演を予定。

趣 旨：2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震を契機に、アジア地域における自然災害と応用地質について考えてみたい。災害は社会システムの脆弱性に地形・地質的な特徴が結びつき被害を拡大させると考えられる。アジア地域にはそのような特徴を持つ地域が数多く存在すると考えられる。本セッションでは、アジア地域を中心に、社会システムの脆弱性と地形・地質の特徴に焦点を当てる。これにより、アジア地域の防災への応用地質の貢献について情報を共有することを目的とする。

特別セッション3「火山地域の応用地質」

提案者：太田岳洋（山口大学）、小坂英輝（株式会社環境地質）

招待講演：大場 司（秋田大学）

趣 旨：「火山地域における応用地質学的諸問題に関する研究小委員会」では、調査法、長期的噴火予測、火山防災、建設、地下水・環境、資源・エネルギー、市民活動の観点から、応用地質学的な課題について、それぞれの分野固有の課題や複数の分野で共通する課題を抽出してきた。その結果、

いくつかの共通課題が抽出でき、特に 1) UAV を用いた地形計測の適用、と 2) 火山活動に伴う熱水変質現象の理解、が多く分野での共通することが明らかとなった。そこで本セッションは、火山地域の応用地質のうち、特にこの 2 つのテーマについて講演を募集し、議論することを目的とする。

特別セッション4「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから」(口頭発表のみ)

提案者：北田奈緒子(一般財団法人地域地盤環境研究所)

招待講演：公益社団法人地盤工学会からの講演をいくつか予定。

趣旨：R5年にまとめられた地盤工学会「地盤工学のあり方—応用地質学と地盤工学の協働を考える—研究委員会」における提言の報告を踏まえて、本セッションでは地盤工学会の関係者も迎えて理学と工学の融合についてディスカッションを行いたい。また、応用地質学会関係者からも今後の学会の在り方について講演し、意見交換を行う予定である。

※本セッションでは、講演者の募集はいたしません。

発表希望分野：下記分野から第1希望、第2希望をお選びください。プログラム作成時の参考にいたします。

「災害地質」、「土木地質」、「測量・計測」、「地下水」、「環境地質」、「地層処分」、「地形・地質一般」、「社会貢献」、特別セッション1「応用地質学から見た関東大震災100年と地域の地震災害」、特別セッション2「アジア地域の自然災害と社会システムにおける応用地質の関わり」、特別セッション3「火山地域の応用地質」、特別セッション4「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから」。

なお、特別セッション1、2は口頭発表のみとなります。また、特別セッション4の講演者は、提案者と学会事務局により選考いたしますので、会員の皆様からの発表の募集はいたしません。

受付の確認：申し込み受付は**投稿申し込み専用フォーム**から申し込み内容が正しく送信された時点で受領とします。

正しく送信が行われた場合、連絡担当者宛に受付完了のメールが送信されますので、メールの着信を必ずご確認ください。

発表形式：申し込み時に、「口頭発表」もしくは「ポスター発表」の希望を選択していただきます。なお、十分な討論時間を確保するため、会場スペースの都合等の理由により、発表形式の変更をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

論文の採否：論文発表の採否、発表形式の決定は、当学会事業企画委員会にご一任いただきます。その結果を6月上旬までにお知らせし、原稿執筆の依頼をいたします。内容については、新規性・公平性のあるものとし、特定の技術等の宣伝と判断される場合などは、不採用とすることもありますのでご注意ください。

発表方法：[口頭発表]

口頭発表はパワーポイントとZoom(予定)を用いた発表方式とします。会場ではZoomで共有された発表スライドを、液晶プロジェクタで投影します。会場・設備の都合によりオンラインでの発表ができなくなる可能性がありますので、発表者は原則会場での発表をお願いいたします。口頭発表の持ち時間は、**発表時間12分、討論3分の計15分**を予定しております。なお、発表数が多い場合には、発表時間等の短縮を行う場合がありますので、予めご了解ください。

[ポスター発表]

ポスター発表には、会場にポスター用のパネル(各発表者1枚、A0サイズを予定)を用意いたします。活発な討論のために発表時間帯(コアタイム)を設定いたします。発表者は会場での発表をお願いいたします。

表彰制度：口頭発表およびポスター発表について、表彰制度を設けます。口頭発表の表彰は、45歳以下の発表者が対象となります。ポスター発表の表彰については、年齢制限はありません。

参加申し込み：学会ウェブサイト上での事前参加申し込みを、2023年9月に開始予定です。参加申し込みは原則、事前申し込みと参加登録料の事前支払いとします。また、講演論文集の印刷は行わず、電子ファイル版の講演論文集を事前に配布いたします。配布方法は研究発表会参加者用のウェブサイトから、ダウンロードしていただく方を予定しています。なお、研究発表会に参加される方は全員、参加登録料が必要になります。

講演者の事前支払いが確認できない場合には、発表取り消しとして取り扱われる場合があります。参加申し込みの際には、「現地参加」もしくは「オンライン参加」のご予定を確認させていただきます。なお「**オンライン参加**」の場合は、**ポスターセッションには参加できません**。あらかじめご了承ください。

参加登録料：参加登録料金には講演論文集（電子ファイル）のダウンロード権が含まれます。

| | | | |
|------|---------|-------|----------|
| 正会員 | 8,000 円 | 非会員 | 10,000 円 |
| 学生会員 | 1,000 円 | 非会員学生 | 3,000 円 |

発表論文：口頭発表およびポスターセッションともに、当学会所定の原稿執筆要領に従った**講演論文集原稿の PDF ファイルを電子投稿システムにより提出**していただきます。電子投稿システムにつきましては、学会ウェブサイト内で追ってお知らせいたします。**原稿は A4 版、和文または英文 2 ページ**とします。和文の場合は英文表題が必要です。詳細は、6 月上旬に学会ウェブサイト上に公開する、「原稿作成要領」および「原稿フォーマット」を確認してください。

原稿提出期限：令和 5 年 8 月 18 日（金）

※研究発表会の情報は、Facebook、学会ニュースリストでもお知らせいたします。